

令和2年度第4回神栖市行政経営適正化推進委員会 会議要旨

日時	令和2年12月22日(火) 午後1時30分～午後4時30分
場所	神栖市役所分庁舎 2階 会議室3
案件	(1) 行政経営計画実施計画「行政経営適正化プラン」(案)への意見について
出席委員数	5名
傍聴者	0名
会議の要旨等	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 行政経営計画実施計画「行政経営適正化プラン」(案)への意見について</p> <p>事務局より、行政経営計画の具体的な取り組み事項となる「行政経営適正化プラン」案(全38案)について、各委員から事前提出いただいた意見をもとに、委員会としての意見を集約いただく旨説明。</p> <p>【委員からの主な質疑等】</p> <p>「プラン案_行政手続のデジタル化の推進」</p> <p>デジタル化に関する研修は、職員だけではなく、例えば高校生など教育機関や民間等の活用も検討してはどうか。</p> <p>「プラン案_市民ニーズの把握の向上」</p> <p>早期達成を目指し、初年度の目標は高く設定してほしい。</p> <p>「プラン案_公立幼稚園の魅力向上」</p> <p>現状のニーズを把握するためのも、パブリックコメントなどを実施し、魅力向上に努めていただきたい。</p> <p>「プラン案_市政情報の効果的な発信」、「プラン案_シティプロモーションの推進」</p> <p>情報発信に際しては、多様な利用者層に対し、対象に応じて媒体や構成を変更するなど、より利用者を意識した分かりやすい広報・プロモーションに努めていただきたい。</p> <p>市の魅力発信にあたっては、神栖の長所、強みとターゲットを明確にしながら取り組んでいただきたい。</p> <p>「市政情報の発信」と「シティプロモーション」は情報発信に関連した取り組みであるため、一つに統一してはどうか。</p>	

「プラン案_医師確保に向けた情報発信」

医師確保は、市全体で取り組む事業であり、様々な取組のもと成果が生じるものである。本計画のプランとしては、市の情報発信の特長を高めることに焦点をあてた取組であることを、より明確にされたい。

「プラン案_空き店舗利用の促進」

商店街には潤いのある環境整備も必要であり、歩道の外灯整備、緑化整備の推進についても検討されたい。

「プラン案_市税等収納率の向上」

効率的な債権回収のため、ペイジーなど収納方法の拡大を更に進められたい。

「プラン案_未利用財産の有効活用」

目的及び効果について、より具体的に記載されたい。

「プラン案_企業立地の促進」

安定した税収、雇用を確保するために、首都圏への近さといった本市の優位性をアピールしながら、計画的に新たな企業立地の促進を進めていく必要がある。

「プラン案_都市計画と地域公共交通網形成の一体的な推進」

公共交通網の形成には継続して努められたい。また高齢化社会を迎え、市民の足として他都市で導入が始まった「公共無人バス」等の導入を検討してほしい。

プラン案の目的・実施内容から、本計画のプランとするより、市のまちづくりに係る施策として市全体で推進すべき事項と見受けられる。

「プラン案_後期高齢者医療保険料の未納削減」

令和5年度に県平均を超える目標としているが、初年度で達成を目指されたい。

目標は高く掲げチャレンジすることで、課題がより明確になる。その課題を精査しながら、重点的に取り組む事項を決め、推進されたい。

「プラン案_水道事業会計の経営健全化」

水道事業の公共性をふまえ、課題である水道の安全性、災害対策などに対応し、費用負担を生じてでも維持管理の継続をお願いしたい。

経営目標としては正しいが、テーマが大きいため、プランとして実施するにあたっては、よりテーマや実施事項を具体的に絞り実施したほうが、取り組みの目標と成果が明確になるであろう。

「プラン案_下水道企業会計の経営健全化」

水道事業のプランと同様に、経営目標としては正しいが、テーマが大きいため、プランとして実施するにあたっては、よりテーマや実施事項を具体的に絞り実施したほうが、取り組みの目標と成果が明確になるであろう。

「プラン案_職員定数の適正管理と適正な人材の確保」

事務事業の見直しは継続的に進めるとともに、社会情勢の変化、多様化に対応するため適切な職員数の確保、正規職員の確保は必要である。適正な人材は確保し、

必要な行政サービスの提供に繋がりたい。

「プラン案_ワークライフバランスの推進に伴う労働生産性の向上」

勤務時間内で仕事を終える事業計画を立て、そのための業務の効率化・簡素化を行い、生産性の向上と働き方の見直しを一層進められたい。

ワークライフだけでなく、ワーク中でのバランスがより重要である。事務作業の一層の効率化を図りつつ、現場にて業務の問題点や課題を掌握するワークのバランスのあり方こそが生産性を上げるポイントになる。「ICTによる業務効率化」のプランと連動して取り組むことを期待する。

「プラン案_効果的な組織編成，事務事業の一元化」，

「プラン案_総合支所業務の最適化」

委員：いずれも組織編成に係る内容であるので、区分せずに、組織編成の取組の一環としてもよいのではないか。

4 その他（今後の予定）

次回会議において、各プランへの意見の集約を継続実施。

集約いただいた委員会意見は市へ提示し、所管部署で調整のうえ、市幹部からなる本部会議にて、プランへの反映を決定する旨事務局から説明。

5 閉会